

地域未来創造会議（荒尾・玉名地域）議事概要

- 1 日 時 令和7年2月12日（水） 16:30～18:00
- 2 場 所 玉名地域振興局（玉名総合庁舎）4階大会議室
- 3 出席者
 - （1）市町長
浅田荒尾市長、藏原玉名市長、前田玉東町長、石原和水町長、佐藤南関町長、中逸長洲町長
 - （2）県議会議員（オブザーバー）
岩中県議、内野県議、城戸県議、坂梨県議、前田県議
 - （3）県
[本庁]
木村知事、沖政策審議監、若杉地域振興課長、阿南市町村課長 他
[県北広域本部]
永友本部長、錦戸振興課長 他
[地域振興局]
坂口局長、波多野次長、各部長・副部長、玉名教育事務所長 他
- 4 議事内容
 - （1）知事から ～荒尾・玉名地域の未来への想い～
 - （2）市町長から
 - （3）意見交換
- 5 会議資料 別添のとおり

概 要

会議では道路ネットワーク整備、TSMC進出の波及効果、地域公共交通の連携、スマートシティの取組み、西南の役150周年等に関する事等が話し合われた。主な意見は次のとおり。

1. 道路ネットワークの整備について

- ・有明海沿岸道路を使って福岡、佐賀から短時間でアクセスできるという意味で、一つの拠点としての財産が増えた。
- ・有明海沿岸道路の建設促進とともに、構想路線である有明海沿岸連絡道路の整備等についても明確な打ち出しが必要。
- ・南関インターから長洲町までの道路の早期整備による、有明海沿岸道路や九州自動車道との縦横軸の広域的な道路ネットワークの形成が重要。

2. TSMC進出の波及効果や福岡都市圏の活力の取込みについて

- ・TSMC進出の波及効果拡大に向けて企業誘致やインバウンドの取組みがあげられる。
- ・半導体企業進出地域や福岡都市圏等のベッドタウン化も進めていく。
- ・企業誘致や工業団地も積極的に推進していく時期にきており、それに伴う用地の活用や道路ネットワークの整備についても、県に相談していきたい。
- ・産業用地造成補助金を導入したほか、台湾の九如郷と協定を締結し、来年度からは小学

生の交流事業を行う予定。

3. 地域公共交通について

- ・公共交通は地域間の連携が重要であり、路線バスと乗り合いタクシーの位置づけ等の調整が必要。
- ・スクールバスの登下校時間以外の有効活用等について、県立高校のあり方や小学校統廃合等と併せて検討が必要。

4. スマートシティの全域波及について

- ・スマートシティの取組みの中で健康面での施策に力をいれている。市単独での効果測定には課題が有り、他の市町にも協力いただきながら成果を波及させたい。

5. 西南の役 150 周年について

- ・西南の役は田原坂が有名だが一番の激戦地は玉東町。2年後の西南の役150周年に向けた取り組みについて、熊本市との連携が不可欠。
- ・西南の役に関連する寺院があるので協力していく。

今回の会議内容を基に、次の事項について引き続き県と市町で事務的に今後の展開等を検討していくこととなった。

- (1) 有明海沿岸道路・連絡道路等の道路ネットワークの整備促進
- (2) T S M C 進出の波及効果拡大や福岡経済圏域の取込みに向けた、企業誘致や工業団地整備、ベッドタウン化への取組み
- (3) 地域公共交通の連携方法等についての検討
- (4) スマートシティでの先進的成果の全域波及への取組み
- (5) 西南の役150周年に向けた取組み

(以上)